

経理適正化の取組の恒久化に向けて

平成22年度に判明した不適正な経理処理に伴う再発防止の取組について、これまで職員一丸となって全力で取り組んできました。その結果、経理適正化外部評価専門委員からは、当初の提言が概ね実行できているとの評価を受けるに至っています。

今後も引き続き、これまでの取組の過程で構築してきた様々な制度やルールを恒久的なものとして継続していくことが大切です。

あわせて、時代の変化や制度等の運用の中で、取組の形骸化や円滑な業務執行の阻害を招かないように、必要に応じ、業務や制度等の合理的な改善に努めてください。

市民の信託に応えるべき市職員として、以上のことを踏まえて、コンプライアンスのより一層の浸透を図るとともに、経理適正化に係る次の取組を推進してください。

平成26年2月4日

神戸市経理適正化推進本部

本部長 久元喜造

組織としての推進

- コンプライアンス対策会議のもとでの局室区・各職場における自律的な内部統制活動の促進
- 「神戸市職員コンプライアンス共有理念」の周知徹底
- 監査、監察機能を有する機関の連携強化による重層的チェック機能の発揮

職員の意識向上

- 各種・各層の職員に対するコンプライアンスにかかる研修の実施
- 具体的事例の活用や参加型研修の導入、受講者アンケート等による研修内容の充実
- 職員向け啓発資料「コンプライアンスシート」の継続的な発行

再発防止策の徹底及び改善

- 適正な予算計上と計画的な予算執行
- 制度・ルールの周知と適正かつ迅速な事務執行の徹底
- 時代の変化や運用実態に応じた、制度・ルールの効率的・合理的な整理、改善
- 事業者への周知・協力の要請
- 出納機関による牽制機能の強化
- 自主監査や抽出調査によるモニタリングの実施

市民への説明責任

- ホームページ等を活用した、市民への分かりやすい情報提供の推進